

みんなの

ちいき ふくし

CHI-KI FUKUSHI SOJA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

社協だより
vol.78

7

2025

CONTENTS

- 地域ニュース from 地区社協 / 生活の支え合い活動 … 2
- 災害ボランティアセンター設置演習 / 子ども応援セミナー … 4
- 福祉委員 / 暮らし相談班 …………… 5
- ひきこもり支援 / 職員紹介 …………… 6
- 在宅福祉課事務所移転 / 弁護士コラム ……… 8
- 講座案内…………… 9
- 事業計画予算…………… 10
- まごころのページ …………… 11
- 介護予防・生活支援サポーター / 社協会費 … 12



災害に負けない地域づくり！



ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました



社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

(詳細は4ページ)

「すべての住民が、自分の住み慣れた地域で、自分らしく、生き生きと、豊かに暮らせるふれあい、助けあい、支えあいのある住民主体の福祉コミュニティの実現」

常盤地区社協



多世代参加型の防災訓練！

常盤地区は、若い子育て世代の方が多く、移住や転居等により町内会や自治会への加入率が低迷しています。そのため、地域内での繋がり、特に以前から居住されていたご高齢の世代の方と、新しく居住されてきた若い子育て世代間との繋がり希薄化が顕著に表れてきております。

そのような中、例年通り秋の防災訓練を令和6年12月8日（日）常盤小学校で実施致しました。今年は特に多世代参加型の防災訓練にすべく、岡山県立大学生ボランティアと、総社高校生ボランティア参加を依頼し、学生主体の工夫を凝らした体験型ブースを開設して頂きました。その他は、起震車による地震体験や県獣医師会によるペットとの避難所生活体験等を実施しました。その結果、大勢のお子さん～ご両親～ご高齢の方まで、総勢347人の参加を頂き無事盛大に開催できました。ご協力頂きました関係者の皆様に感謝申し上げます。

常盤地区社協では今後も、多世代の方が参加して頂ける企画検討と、開催に努めて参ります。

（執筆者 Y.H）

三須地区社協



ハンセン病について学びました！

令和7年3月11日（火）に三須地区社会福祉協議会視察研修を長島愛生園にて実施しました。

長島愛生園は日本初の国立ハンセン病療養所として1930年（昭和5年）に誕生しました。当時はハンセン病にかかった人を、強制隔離する施設として、（多い時は2,000人）知られています。患者を収監する監房の壁には患者の苦しみを語る文字が現在も残っています。また、当初は患者の解剖も行っていた例もあり、施設内では強制労働させられ死に至る方も多く、患者の心境は想像を絶する物があったように思われます。1988年（平成元年）邑久長島大橋が完成した後から環境も変わり、現在は病気も完治し70人の方が園内の新しい施設に移り生活をされています。

三須地区では見守り活動をしていますが、多くの方の思いに寄り添いながら、今後も活動していきたいと感じました。

（執筆者 M.S）

昭和地区社協

安心して豊かに暮らせる
昭和を目指して



令和7年3月29日（土）昭和公民館にて、11回目となる福祉のまちづくり座談会in昭和を開催しました。

当日は5つのグループに分かれ、“昭和の良い所”“必要なこと”“こんな事が出来るかも”の3つの項目についてメンバー各自の想いを付箋に書き、項目ごとに取りまとめを行い、グループごとに出された内容を発表し参加者全員で共有しました。

今後は、皆様の想いの実現に向け、昭和小学校区、維新小学校区、各地域づくり協議会と協働で具体的な取り組みを進めて行く予定です。

又、今回昭和五つ星学園義務教育学校の生徒会長も参加して下さり、これからの地域を背負って下さる若い方からのご意見をいただきとても良い座談会になったと思います。

（執筆者 H.A）

生活の支え合い活動に関する 「思いをカタチにする講座」 ～「モヤモヤさん」・「ウズウズさん」 集まれ～



令和7年3月1日（土）に、昭和公民館にて講座を開催しました。

昭和地区で活動をしている、「草田サクラサロン」、「にこにこサポート事業」、「富山いも煮会」の実践を紹介いただき、参加者の皆さんで、自分たちにできることを考えました。

受講者からは「自分の地区でも取り組みたい」というご意見や、「この取り組みを続けるためには誰に声をかけよう」という話があり盛んな意見交換がされていました。

【お問い合わせ】地域共生推進課 地域福祉係

TEL：(0866) 92-8552 FAX：(0866) 94-0089 E-mail：chiiki@sojasyakyo.or.jp

地域の支え合い活動を紹介します！

今回から、総社市内にある、地域住民同士が助け合い、支え合いながら活動されている“地域の支え合い活動”を紹介いたします。

山田べんりーな

山田地区在住の70歳以上のひとり暮らし及び高齢者世帯を対象に、日常生活の中で困っていること（草刈り、お墓掃除、粗大ごみの処理、簡単な家屋修理など）に対応します。

【活動日時】依頼に応じて活動

【費用】原則1時間600円



この活動に参加してみたい、依頼してみたい、などご希望がありましたら、おつなぎさせていただきます。お気軽にお尋ねください。

総社市 災害ボランティアセンター設置演習

令和7年2月1日（土）に総社市スポーツセンターサブアリーナで「令和6年度総社市災害ボランティアセンター設置演習」を開催しました。

当日は、センター運営スタッフ、ボランティア、本会職員で計92人が参加し、新見公立大学 山本浩史先生から災害ボランティアセンターの意義と役割についてご講義いただきました。

その後、市内で水害による大規模災害が発生した想定で、災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者からの相談受付や被災地にボランティアを派遣する演習を行いました。

参加者からは、「演習を行うことで、現実的な問題等が発見でき、非常にためになった」「実際に設置された時に備えて、とても良い経験になった」という感想が寄せられました。

本会として、今後各団体と平常時や災害時のネットワークのあり方について検討していきます。

災害ボランティア活動の流れ



ボランティア受付班

ボランティアの受付をします



マッチング班

支援依頼とボランティアの調整を行います



地域

現地に向かい、支援を実施する



資材管理班

必要な資機材の管理や受け渡しをします



演習にご協力いただいた団体など（順不同）

- ◆NPO法人保育サポート「あい・あい」
- ◆ふくしネットそうじゃ（総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会）
- ◆日本赤十字社岡山県支部 ◆そうじゃ防災士の会
- ◆生活協同組合おかやまコープ
- ◆一般社団法人総社青年会議所
- ◆総社市ボランティア連絡協議会 ◆岡山県立大学
- ◆総社市民生委員児童委員協議会
- ◆総社市福祉委員協議会
- ◆株式会社ドコモビジネスソリューションズ岡山支店
- ◆社会福祉法人岡山県社会福祉協議会

子ども食堂について考えました！！



美作大学 松尾 彰 先生



子ども食堂ほのぼの



スマイル食堂



令和7年3月13日（木）に総社市子ども応援セミナーを開催しました。

本セミナーでは、「子ども食堂と地域とのつながり」と題し、美作大学 生活科学部 社会福祉学科の松尾 彰 先生にご講演をいただきました。子どもや家族を取り巻く現状や、子ども食堂を中心に地域全体がつながることの意義などについて教えていただきました。

その後、総社市内で子ども食堂をされているこども食堂ほのぼの、スマイル食堂に実践報告として実際の活動内容や工夫している点をお話いただきました。

当日は民生委員・児童委員、福祉委員、子ども食堂関係者、子育て支援関係者、企業・団体など様々な方が参加され、世代や立場を超えたつながりが生まれる子ども食堂について考える有意義な時間となりました。

地域を元気にするサポーター 福祉委員!!

各地区で福祉委員委嘱式が開催されています!



本会では、平成18年から福祉委員の設置・活動に取り組んでおります。改選期を迎え今年度は、市内16会場(各地区福祉委員会の単位)にて委嘱式を開催し、579人の方に委嘱させていただきました。

(令和7年4月1日現在)

福祉委員ってどんな活動しているの?

①地域のアンテナ役

◆身近な地域での
さりげない **見守り・声かけ**

②福祉活動の協力役

◆活動を通じての **気づき、つながり**
お互いの **顔が見える関係づくり**

③福祉情報の連絡役

④福祉意識の啓発役

◆ **福祉の輪**を広げます

暮らし相談班

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、休業などによる収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯を対象に特例貸付を行いました。

現在、本会 暮らし相談班では、新型コロナ特例貸付を借りられた方々を対象に、現在の生活状況の聞き取りを行い、貸付の償還や免除、猶予などの相談内容に応じて様々な支援機関へつなぐ役割も担っております。

収入が減って
家計が苦しい

借金の返済に
困っている

仕事が
長続きしない

健康に
不安がある

相談相手が
いない

日々の食べ物に
困っている

【お問い合わせ】

地域共生推進課 地域福祉係

TEL: 0866-92-8552 E-mail: chiiki@sojasyakyo.or.jp

生活上で心配ごとやお困りごとがある方はお気軽にお問い合わせください。
(右記のQRコードからも相談できます)



総社市ひきこもり支援フォーラムを開催しました！

令和7年3月16日（日）に総社市ひきこもり支援フォーラムを開催しました。当日は約100人にご参加いただき、大盛況で終えることができました。

基調講演では、一般社団法人ひきこもりUX会議 代表理事 林恭子さんに、「経験者が語るひきこもり～同じ未来をみるために～」というテーマでご講演いただきました。林さんより、ご自身のひきこもり経験から、ひきこもっている時にはどういう状態でどのように社会が見えていたのか、支援者や家族、周りの人がどのような視点をもって関わってほしいかなどのお話をいただきました。

実践発表では、ノートルダム清心女子大学 准教授 中井俊雄先生のコーディネートのもと、NPO 法人あかね、総社市ひきこもり家族会、総社市ひきこもりサポーターの代表の方に、経験や取り組みについて発表をしていただきました。ひきこもりは個人の課題ではなく社会全体の課題であり、このことを地域の方に知ってもらうことがひきこもり当事者やその家族にとって大きな力になることを知る良い機会となりました。

今回のフォーラムを受けて、ひきこもり当事者にとってやさしい地域づくりの実現を目指していきたいと思います。

ご参加いただいた皆様大変ありがとうございました。



基調講演 講師
一般社団法人ひきこもりUX会議
代表理事 林 恭子 氏



令和7年度 ひきこもりサポーター養成講座



ひきこもりは本人や家族だけの課題ではなく、**社会全体の課題**です。ひきこもりに対する理解を深め、ひきこもりの方やそのご家族を地域で見守ることや当事者との関わり方等、自分たちにできることを一緒に考えてみませんか。



【第1回】
8月30日（土）13：00～15：30
「ひきこもりってなんだろう」

【会場】
第1回：総社市中央公民館 第1会議室
第2回・第3回：清音福祉センター 大ホール



【第2回】
9月7日（日）13：00～16：30
「ひきこもっている人の気持ち
～本人・家族の思いから～」
「こんな風に接してくれたら安心できる」

くわしくは総社市社会福祉協議会ホームページ
をご覧ください、電話・メールもしくは下記
QRコードからお申し込みください。



【第3回】
9月28日（日）13：00～16：15
「ひきこもりの理解と支援
居場所支援について考えてみよう」
「ひきこもりサポーターの
活動について理解を深めよう」

【お申し込み・お問い合わせ】
ひきこもり支援センター **ワンダッチ**
TEL：（0866）92-8597
E-mail：soudan@sojasyakyo.or.jp



地域共生推進課

～住所が新しくなりました～

新住所：総社市中央一丁目1番1号 総社市役所2階



地域福祉係 ボランティアセンター

TEL：(0866) 92-8552

各地域に出向き、住民の皆さまと一緒に活動をしています。地区社協活動や福祉委員活動、ふれあいサロン活動、ボランティア活動など、一人ひとりがつながる地域づくりを皆さまと一緒に考えています！

権利擁護係 権利擁護センター“しえん”

TEL：(0866) 92-8574

高齢者・障がい者・子どもの虐待の防止や、成年後見制度のことなど、皆さまの権利を守るための支援をしています。

相談支援課



自立支援係

生活困窮支援センター

TEL：(0866)92-8374

「仕事が続かない」「食べるものがない」など、生活に関する不安や悩み事のご相談をお受けしています。一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

ひきこもり支援センター

TEL：(0866)92-8597

ひきこもりに関するご相談をお受けしています。困っていること、不安なこと、趣味の話などをお聞きし、あなたのペースに合わせて一緒に考えます。ご家族のみのご相談も可能です。

障がい支援係

障がい者基幹相談支援センター

TEL：(0866)92-8578

障がいがある人のなんでも相談窓口です。障がいがある人や障がいがある子どもが利用できる制度・サービスのご紹介、ご相談などをお受けしています。発達障がい支援コーディネーターがいます。

障がい者千五百人雇用センター

TEL：(0866)92-8379

障がいがある人の「働きたい！」を応援しています。就職活動のお手伝いや、お仕事を長く続けるための支援をしています。

地域活動支援センター ゆうゆう

TEL：(0866)92-2566

障がいがある人がゆっくり過ごせる居場所です。料理やレクリエーションなどを行っています。

在宅福祉課



訪問介護事業所

TEL : (0866)92-8560

居宅介護支援事業所

TEL : (0866)92-8565

計画相談支援事業所

TEL : (0866)92-8559



登録ヘルパーさん大募集！！

介護福祉士、介護職員初任者研修、旧ホームヘルパー1級2級等の資格をお持ちの方、ぜひあなたの力を活かしてみませんか？

初めての方でも、ブランクが長くても大丈夫。経験豊かなヘルパーが同行し丁寧にサポートします！！



※ 活動は自家用車を使用

◎詳細は下記まで、お気軽にお問い合わせください

【お問い合わせ】

総社市社会福祉協議会

訪問介護事業所

TEL : (0866) 92-8560

E-mail : kaigo-soja@sojasyakyo.or.jp

私たちの日常生活にも、意外と法律の問題は潜んでいます。

Q&A 形式で日常生活と法について、解説していきます。

Q お隣さんが最近亡くなられ、ご自宅が空き家になりました。お隣さんのお子さんが、時々戻ってきて管理をしているようなのですが、お庭の草が伸び放題になっています。お隣さんとは仲良しでしたし、草が伸びていると我が家にも影響があるので、私が草を刈ってあげてもいいでしょうか？

A たとえ空き家だとしても、お子さんが家を管理している以上、お隣さんのご自宅は「人の看守する邸宅」として、法的保護の対象になります。家そのものだけでなく、^{いじょうち}囲繞地（敷地）の意味も同様です。そのため、お子さんの許可なく隣家の敷地に立ち入った場合、住居侵入罪となってしまうかもしれません。まずはお子さんと連絡を取り、草の繁茂で困っていることを伝えてみましょう。裁判所での調停手続きや弁護士会の仲裁手続きなどを利用することも有効かもしれません。いずれにせよ、まずは弁護士に相談をお勧めします。



弁護士コラム

連載第7回

「日常生活と法律①」
～草刈りをしてあげたいけれど～



権利擁護センター“しえん”
かわだ のぶか
弁護士 河田 布香

講座案内

法律ミニ講座

権利擁護センター所属の弁護士が、『終活・相続に関する法律講座』を全5回に分けて開催します。相続、遺言などの基本的な知識を学ぶことができます。

12月以降も日常生活での身近な法律などをテーマに開催するため、社協だより11月号にてご案内します。

◆日時

- 1 令和7年6月12日（木）
 - 2 令和7年7月10日（木）
 - 3 令和7年9月11日（木）
 - 4 令和7年10月9日（木）
 - 5 令和7年11月13日（木）
- いずれも14時から15時30分

◆場所

中央公民館 2階
第1会議室
※10月のみ1階
第5会議室

◆お申込み・お問い合わせ

権利擁護センター しえん
☎：(0866) 921-8574

虐待防止研修

権利擁護センターでは、虐待防止や地域の見守り・支え合いの大切さを広めるため、本研修会を開催します。通報・相談件数の増加傾向にある高齢者虐待の防止をテーマに講義をいただきます。

◆日時

令和7年7月18日（金）
14時から16時

◆場所

総社市役所 4階
大会議室

◆講師

美作大学 社会福祉学科
松尾 彰 氏

◆お申込み・お問い合わせ

権利擁護センター しえん
☎：(0866) 921-8574



総社市成年後見セミナー・ 総社市市民後見人 養成研修説明会

認知症や障がいなどにより、金銭管理や契約などの判断に不安がある方を支える「成年後見制度」について、市民の皆様を知っていただくことを目的に、セミナーを開催します。セミナー後、総社市市民後見人養成研修についてご案内します。詳細が決まり次第、社会福祉協議会ホームページなどに掲載します。（8月頃開催予定）

◆お問い合わせ

権利擁護センター しえん
☎：(0866) 921-8574

市民後見人とは…
弁護士や司法書士などの資格をもたない、親族以外の市民による成年後見人等であり、市町村等の支援をつけて後見業務を適正に担います。

食料品寄付のお願い

いただきものや買いすぎてしまったものなど余った食品を募っています。ご寄付いただいた食品は、生活にお困りの方への支援や、子ども食堂などに活用させていただきます。

特にお米を必要としている方が増えています。米不足・物価高の状況ではありますが、可能な限りでご支援をいただきますよう、よろしくお願いします。

【対象】

- ・賞味期限が明記されているもの
- ・常温で保存が可能なもの
- ・賞味期限が1カ月以上残っているもの

・未開封で中身が破損していないもの
※生鮮食品やアルコール類はお受けできません。

◆お問い合わせ

生活困窮支援センター
☎：(0866) 921-8374

令和7年度

社会福祉法人 総社市社会福祉協議会 事業計画

すべての住民が自分の住み慣れた地域で自分らしく生き生きと豊かに暮らせるふれあい、助けあい、支えあいのある住民主体の福祉コミュニティの実現

～ 重点事業 ～

1. 総務企画課

- ①持続可能な組織基盤（財政・人材・事業）体制の強化
- ②社会福祉協議会会員加入の推進
- ③「社会福祉協議会活動」における広報啓発事業の充実

2. 地域共生推進課

- ①地区社会福祉協議会（地区社協）活動の推進
- ②福祉委員活動及び子ども福祉委員活動の推進
- ③ボランティアセンター事業の強化（ボランティアの育成と福祉教育）
- ④新型コロナ特例貸付借受世帯に寄り添った相談支援の推進

3. 相談支援課

- ①障がい者地域活動支援センター事業の推進
- ②障がい者千五百人雇用センター事業の推進
- ③ひきこもり支援事業の推進
- ④多機関の連携・協働による複合的な課題への対応

4. 在宅福祉課

- ①介護保険関連事業の推進
- ②障がい福祉サービス事業の推進

～ 社会福祉事業区分 予算 ～

（単位 千円）

拠点区分	収 入			支 出		
	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
法人運営	169,480	141,322	28,158	145,232	122,855	22,377
地域福祉	41,751	37,209	4,542	53,727	43,637	10,090
福祉センター	7,004	9,035	△ 2,031	7,775	12,911	△ 5,136
共同募金	5,100	5,100	0	5,200	5,200	0
資金貸付	1,573	1,866	△ 293	1,673	1,973	△ 300
障がい支援	51,773	50,851	922	58,415	56,479	1,936
権利擁護	73,640	74,468	△ 828	78,299	76,796	1,503
介護保険	72,144	72,340	△ 196	72,971	71,024	1,947
障害福祉サービス	49,649	52,005	△ 2,356	48,124	52,733	△ 4,609
福祉器具貸出	70	70	0	768	658	110
合 計	472,184	444,266	27,918	472,184	444,266	27,918



※ご了承をいただいた方についてのみ、紙面上に寄付金額を掲載させていただいております。

種 別	金 額 等	寄 付 者	住 所
一般寄付	106,553 円	昭和 48 年度卒業総社東中学校同窓会	
	ランドセル 5 個	別所 睦子	新見市



下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載しておりません。

寄 付 者	住 所	寄 付 者	住 所	寄 付 者	住 所
▽香典返し					
藤井 斎志	亡母（英子）	清音軽部	池上 正二	亡父（新三）	下倉
中田 環	亡母（松江）	駅南 2 丁目	山本 恭子	亡父（義郎）	西郡
石本 誠	亡義母（淑恵）	久代	守安真由美	亡夫（誠）	上林
荒木 俊雄	亡母（智子）	秦	中村 博志	亡義父（春生）	穴栗
山田 将仁	亡母（文子）	久米	平田千恵子	亡夫（五男）	見延
藤原 節子	亡父（神崎登）	北溝手	樋上 近雄	亡母（蓉子）	久代
石部 秀明	亡父（茂昭）	原	下山 昌枝	亡夫（実）	富原
高瀬 和美	亡母（昌子）	中原	光畑 将勝	亡父（勝尚）	長良
林 恵子	亡兄（浩史）	西阿曾	茅野 博史	亡父（忠史）	上原
守安 美樹	亡母（汀）	西郡	浅沼 定代	亡夫（忠夫）	下原
小倉 達人	亡父（太郎）	小寺	入江 知子	亡夫（正嗣）	中央 2 丁目
市川 秀子	亡夫（章）	駅南 2 丁目	中村 隆	亡母（道子）	中原
秋山 年子	亡夫（斉）	門田	角田 初男	亡母（民枝）	下林
石井順一郎	亡実父（昭一郎）	上林	林 修司	亡母（和枝）	東阿曾
河田 悟志	亡母（富重）	清音軽部	瀬尾 和司	亡父（敬二）	井手
				▽一般寄附	
				土井建設株式会社	総社 1 丁目
				三須小同窓会発起人会	
				板野 幸子	秦
				正木山・鍬山トレイルラン実行委員会	金井戸
				おかやまコープ備北エリア	中央 6 丁目

（令和 7 年 1 月 21 日～令和 7 年 5 月 20 日まで 敬称略）

障がいのある方が働く事業所が寄付しました

令和 7 年 2 月 1 日（土）から 3 月 16 日（日）まで宮脇書店総社店で開催した、そうじゃてのひらマルシェフェアの売上の一部を、日本赤十字社岡山県支部に令和 6 年能登半島大雨災害義援金として寄付させていただきました。このフェアは、障がいのある方が働く就労継続支援 A 型・B 型事業所で構成する、総社市地域自立支援協議会 就労支援事業所連絡会が主催しています。少額ですが、復興支援に役立てていただけたらと思います。ご協力いただいた皆さま、大変ありがとうございました！



介護予防・生活支援サポーター 養成講座

令和7年度
受講生
大募集！



「いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けたい！」
という想いに寄り添う“サポーター”として活動してみませんか？

第1回(夏期講座)	第2回(秋期講座)	内 容
7月29日(火) 8月7日(木) 8月19日(火) 会場：久代分館 時間：13時～16時半(予定)	10月17日(金) 24日(金) 11月7日(金) 14日(金) 11月21日(金) 12月5日(金) 会場：岡山県立大学 時間：12時40分～14時10分	①総社市の現状・取り組み ②認知症について ③高齢者の暮らし ④地域の支え合い活動 ⑤コミュニケーションの手法 ⑥私たちにできることを考えよう

第1回・第2回とも同じ内容です。上記いずれかの日程をご受講ください。

【お問い合わせ】

地域共生推進課 地域福祉係
TEL：(0866) 92-8552
E-mail：chiiki@sojasyakyo.or.jp

参加申し込み フォーム



この講座の詳細内容は、本会のホームページに掲載しています。



あなたの総社の“お袋の味”大募集！！

あなたの懐かしい
“お袋の味”について、右のQRコードを読み取って、ぜひ、
教えてください。(生活支援体制整備事業)



令和7年度 社協会員を募集しています

総社市社会福祉協議会は、すべての住民が自分の住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと豊かに暮らせる、ふれあい、助けあい、支えあいのある「住民主体の福祉コミュニティの実現」を使命として、地域の皆さまや関係機関・団体とともに地域福祉の推進に取り組んでいます。

本会の趣旨にご賛同いただき、本会の地域福祉活動を主に財源の面から支えていただく会員を募集し、社協会費のお願いをしています。

ご協力いただきました社協会費は、地域福祉事業の貴重な財源として活用させていただいているほか、市内16の地区社会福祉協議会へ配分し、各地区の地域福祉活動に活用されます。

【会員種別と会費】

普通会員	1,000円
賛助会員	2,000円
特別会員	5,000円

(会費は全て年額であり、入会は任意です)

【お問い合わせ】

総務企画課 TEL：(0866) 92-8555

本会の活動を情報発信しています



ホームページ



Facebook



X

